100億宣言

株式会社ハイオス（製造業）

HIOS®



主力製品：産業用電動ドライバー、
精密ねじ、トルク計測器、周辺機器

〇本社所在地：東京都墨田区
〇事業概要：産業用電動ドライバー、トルク計測器、独自開発の精密ねじ、周辺機器の開発・製造・販売
〇常時使用する従業員：91名（2026年10月時点）
〇現在の売上高：31億円（2026年2月期）
〇法人番号：6040001036546
〇Web：https://hios.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
戸津 勝行

締結のイノベーションで、持続可能なものづくりを支える

当社は創業以来半世紀以上にわたり、産業用電動ドライバーとねじを自社で開発し、手作業のねじ締めを電動化、さらに自動化へと進化させることで、ねじ締めの基盤にイノベーションを起こし、製造現場の生産性向上に貢献してまいりました。これからは、ねじとドライバーを一体で開発できる強みを生かし、ねじ締め工程のDXと、サーキュラーエコノミー（分解・再利用・リサイクル）を支える締結技術を通じて、世界の製造現場に新たな価値を届けてまいります。
この想いを実現するため、私たちは2035年の売上高100億円達成に挑戦します。Made in Japanの品質と独自技術を世界90か国以上のお客様に届け、ものづくりの進化と産業界の発展に貢献してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の売上高100億円達成に向け、山形新工場を拠点とした量産体制のもと、ねじ締め工程の最適化を実現する電動ドライバーの世界展開と、AI・ロボットによる自動化やサーキュラーエコノミーに対応する独自開発ねじの市場拡大・新分野進出・海外ライセンス事業を成長の両輪とし、グローバル市場での事業拡大と持続的な成長を目指す。

課題

・新製品の量産化と独自開発ねじの安定供給に向けた生産体制の強化
・DXに対応した製品の早期市場投入と普及
・世界90か国以上の代理店網の深耕と海外販売力の強化
・独自開発ねじのライセンス体制の構築
・山形新工場への拠点集約と、新製品の量産体制の確立

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

・工場・配送拠点・R&D拠点を山形新工場に集約し、開発・製造・物流が一体となった生産、供給体制を構築
・締結データを活用するデータ連携型ドライバーや、AI・ロボットによる自動化に対応した製品の普及による、顧客のスマートファクトリー化支援と継続採用の拡大
・熟練技能が不要な新型ドライバーや、半導体関連部品・医療機器関連などの高付加価値製品の製造能力の向上
・サーキュラーエコノミーに対応した独自開発ねじの普及拡大、新分野への進出および海外ライセンス事業の推進
・世界90か国以上の代理店網の深耕・拡充による海外販売力の強化

実施体制

・開発・製造・保守の連携による一貫体制の強化と、新製品の量産化・安定供給を支える生産体制の構築
・電動ドライバーとねじの技術・知見を融合し、DX・自動化に対応した独自技術の創出と新製品開発を推進する研究開発・技術支援体制の強化
・国内主要代理店および世界90か国以上の海外代理店との連携強化による販売・技術サポート体制の充実
・約2,000件の知的財産を基盤とした海外ライセンス事業の推進体制の構築と、国内外のねじ工場・協業先との供給連携の強化

※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

株式会社ハイオス（製造業）

売上高100億円実現に向けた長期戦略

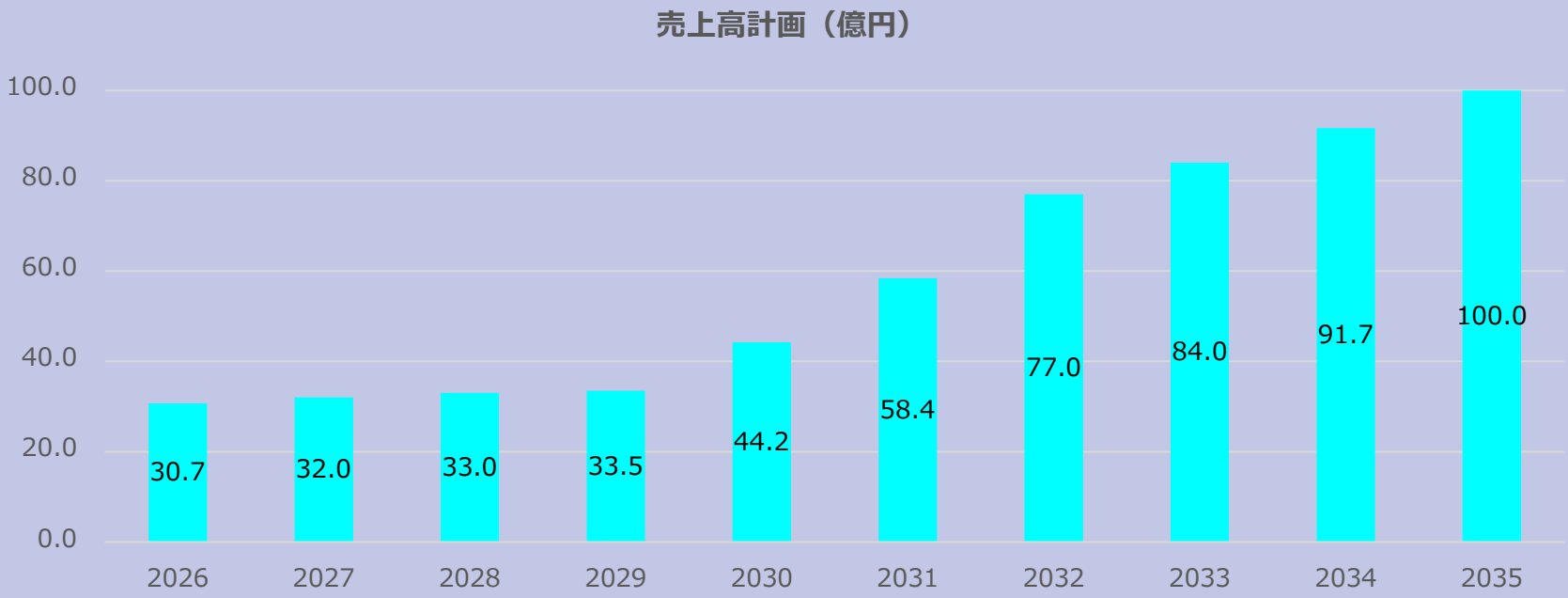
半世紀以上にわたり電動ドライバーとねじの双方を自社で開発・進化させてきた締結技術を核に、国内生産体制の強化、ねじ締め工程のDX、グローバル展開の加速、サーキュラーエコノミーへの対応を4つの柱として、新たな価値を創出し、持続的な成長を実現する。

1. 国内生産体制の強化
開発・製造・物流を山形新工場に集約し、新製品の量産体制を構築して、Made in Japanの品質と供給力を高める

2. ねじ締め工程のDX
締結データの活用とロボットによる自動化を通じて、工程の最適化とスマートファクトリー化を推進

3. 独自技術によるグローバル展開の加速
使いやすさと安全性を強みに、熟練技能に頼らず、誰もが高精度で安定したねじ締めを実現する製品を世界の現場へ普及

4. サーキュラーエコノミーへの対応
締め付け・分解・再組立に対応する独自開発ねじの普及を通じて、循環型社会への貢献と新たな市場の開拓を推進



2035年　100億円達成

- 新工場の稼働を起点に3年間は年率約32%まで成長を加速させ、その後も成長を継続して2035年に売上高100億円を達成する
- 年度は当社の事業年度（2月期）を指す